

事業説明シート 3 施設改良事業(継続)

部局課所 水道局総務課
 総合計画 1章6節1項
 重点テーマ 2 環境と調和したまちづくりの推進

<p>【 事業の目的】 災害に強くより安全な施設づくりをめざして、基幹施設である取水、浄水、送水、配水施設の整備を行う。 1日最大配水量の12時間分の水量確保を目標に配水池の整備を行うことにより、平成15年度末には、現在の9.4時間分から11.3時間分まで配水池容量の増加を図る。</p>	<p>【 事業の対象】 上水道給水区域内全域</p>
<p>【 全体事業概要】 手形山配水池の増設を行うほか、駅東幹線など主要な配水幹線の整備や、浄水場の施設更新を計画的に実施する。</p>	<p>【 国県施策名】 緊急時給水拠点確保事業 【 国補助率】 1 / 3 【 県補助率】 【 起債充当率】 90</p>

【 期間別事業概要】

<p>前期:H15～H17 手形山配水池増設、仁井田浄水場中央監視設備更新、同フィーダー盤更新</p>	<p>後期:H18～H22 配水幹線整備、浄水場設備更新他</p>
--	--

事業評価シート 3 施設改良事業(継続)

【 事業成果(アウトカム)指標】

指標	配水池容量の時間換算比				
選定理由	当該事業の成果として機能が向上するものとして、災害時における確保水量があり、計画一日最大配水量の12時間分を目標に事業を進めているため。				
計算・推計方法	配水池有効容量/計画一日最大配水量×24時間 計画一日最大配水量は水道事業基本計画で規定				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
実績	9.4	9.4	9.4	11.3	11.3
事業成果指標・備考					

【 制度・事業の見直し(廃止)】

<p>● 無 ○ 有</p>	
----------------	--

【 民間事業との競合、事業外部の条件整備、他部局との連携】

<p>○ 問題無 ● 要配慮</p>	<p>浄水場等の基幹施設の整備は、広域化の動向により計画変更となる可能性がある。 幹線整備にあたっては、工事の施工時期や方法について、他事業と十分に調整を図りながら、舗装復旧などに二重投資が発生しないよう十分に留意する必要がある。</p>
--------------------	--

【 住民ニーズ、行政需要の動向】

<p>● 増加傾向 ○ 不変 ○ 減少傾向</p>	<p>水需要の伸びは鈍化傾向にあるが、利用者ニーズは、災害時も含め常に安定した水の供給を求める方向に高度化する傾向にある。</p>
---------------------------	---

【 市民共生、男女共生の視点】

<p>○ 反映済 ○ 反映余地有 ● 関連せず</p>	
-----------------------------	--

【 市町合併との関連】

<p>● 関連無 ○ 関連有</p>	<p>中央圏域水道広域化の進展によっては、施設整備計画の変更が生じる。</p>
--------------------	---

【市が今行う必要性】

無 有

国では災害に強い水道をめざして計画一日最大配水量の12時間分の貯水量を目標値にしているが、本市は平成13年度現在9.4時間分である。なお、平成11年度の全国平均は10.3時間分。

事業説明シート 5 玉川ダム余裕水の広域的活用(継続)

部局課所 水道局総務課
 総合計画 1章6節1項
 重点テーマ

【 事業の目的】 本市は玉川ダムに取水量ベースで111,600m ³ /日の水源を確保しているが、人口の伸び悩みにより余裕が生じたことから、水の有効活用を広域的に検討する。	【 事業の対象】 秋田市、雄和町、天王町、昭和町、飯田川町、井川町、八郎潟町、五城目町、大潟村
【 全体事業概要】	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

【 期間別事業概要】

前期:H15～H17	後期:H18～H22
------------	------------

事業評価シート 5 玉川ダム余裕水の広域的活用(継続)

【 事業成果(アウトカム)指標】

指標					
選定理由					
計算・推計方法					
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					
実績					
事業成果指標・備考	実際の活用方法が提案された段階で評価対象とする				

【 制度・事業の見直し(廃止)】

● 無 ○ 有	
【 民間事業との競合、事業外部の条件整備、他部局との連携】	
● 問題無 ○ 要配慮	
【 住民ニーズ、行政需要の動向】	
○ 増加傾向 ● 不変 ○ 減少傾向	
【 市民共生、男女共生の視点】	
○ 反映済 ○ 反映余地有 ● 関連せず	
【 市町合併との関連】	
○ 関連無 ● 関連有	広域化対象町村の合併の枠組みにより、施設整備計画に変更が生じる可能性がある。
【 市が今行う必要性】	
○ 無 ○ 有	